

(第1号様式)

平成27年4月10日

神奈川県教育委員会教育長 殿

県立 逗葉高等 学校長

平成27年度学校目標設定報告書

次のとおり学校目標を設定しましたので報告します。

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
<p>&lt;教育課程&gt;</p> <p>(1)幅広いニーズに対応する学習支援体制を作る。</p> <p>(2)新学習指導要領に対応した検討を行う。</p>	<p>(1)①生徒のニーズに対応した教育内容の工夫や効果的な少人数授業を展開する。</p> <p>②始業前や放課後の補習など学習の機会を増やす。</p> <p>③長期休業中に、学習支援を目的とした補習を設定する。</p> <p>④より多くの生徒の知的関心を高めるため、長期休業中に体験的なものを含めた講習を設定する。また、地域の方や中学生も参加できる講習を設定する。</p> <p>(2)①新しい教育課程の効果的なあり方を検討するため、生徒対象の教育課程アンケートを実施する。</p>	<p>(1)①効果的な少人数授業の展開数が増えたか。</p> <p>②早朝や放課後の補習などの学習の機会を増やすことができたか。</p> <p>③④補習・講習の内容や設定時期の工夫により、講座数や参加者を増やすことができたか。</p> <p>(2)①アンケート結果を受けて、新しい教育課程の効果的なあり方が検討できたか。</p>
<p>&lt;生徒指導・支援&gt;</p> <p>(1)全職員の共通理解のもとに、生徒一人ひとりを大切にしたい支援を行う。</p> <p>(2)生徒の自立心・自尊心の育成と、規範意識の醸成を図る。</p>	<p>(1)①生徒理解のための研修会を実施する。</p> <p>②「いじめ防止等のための基本方針」の周知および実践を行う。</p> <p>③生徒、職員によるあいさつ運動を行う。</p> <p>④学校生活アンケートなどにより、いじめの早期発見に努める。</p> <p>⑤支援が必要な生徒に対し、サポート会議が中心となり、組織的な支援を行う。</p> <p>(2)①学校行事や部活動において生徒主体の企画運営を行い校内の活性化を図る。</p> <p>②ルール・マナー、いじめ防止の標語作りや道徳意識調査アンケートを行う。</p> <p>③授業のルール、頭髪指導、服装指導等を通して規範意識の醸成を図る。</p> <p>④逗子海岸清掃等、生徒が地域に貢献できるボランティアの参加機会を増やす。</p> <p>⑤式や行事などで生徒が主体となって校歌を歌う機会を増やす。</p>	<p>(1)①効果的な研修会が実施できたか。</p> <p>②いじめ等のない学校になったか。</p> <p>③あいさつ運動が実施できたか。</p> <p>④効果的なアンケートへの対応ができたか。</p> <p>⑤組織的な支援が行えたか。</p> <p>(2)①生徒主体の運営で校内を活性化できたか。</p> <p>②③規範意識は醸成できたか。</p> <p>④ボランティアの参加が増えたか。</p> <p>⑤生徒主体の活動になったか。</p>

<p>&lt;学習指導・授業改善&gt;</p> <p>(1)生徒の学習への関心・意欲を高め、確かな学力の向上と定着を図る。</p> <p>(2)外部との連携を図りながら、授業改善を行う。</p>	<p>(1) ①言語活動の充実をめざし、グループワーク、ペアワーク等を積極的に取り入れる。  ②生徒理解の上に立った授業づくりと生徒が積極的に参加できる授業づくりを推進する。  ③授業規律と授業環境の確立のために、あいさつの励行と机上・教室の環境整備に努める。  ④教科ごとに、観点別評価、評価基準の統一、共通テストについて検討をすすめる。</p> <p>(2) ①公開授業などを通して、近隣中学校等との授業交流を深める。  ②教員相互の授業参観や、教科ごとの授業改善研修会を行う。  ③授業評価の結果を分析し、教科ごとに課題と改善方向を明確にする。  ④外部講師を招いた研修を実施する。</p>	<p>(1)①グループワークやペアワークを効果的に実践できたか。  ②体験的・活動的要素を積極的に授業に取り入れられたか。  ③規律と環境づくりのためのルールが確立されたか。  ④評価基準の統一や共通テストの実施できたか。</p> <p>(2)①授業交流を深めることができたか。  ②授業観察の回数は増えたか。  ③授業評価結果は改善したか。  ④外部講師を招いた研修を実施できたか。</p>
<p>&lt;キャリア教育&gt;</p> <p>(1)主体的に社会と関わる生きる力を育成する。</p> <p>(2)主体的な進路選択ができる支援を行う。</p> <p>(3)進路希望実現に向けた、きめ細かな支援を行う。</p>	<p>(1)①外部講師を招いて、アサーティブコミュニケーションなどの講習や講演を行う。  ②模擬投票、模擬裁判や、シチズンシップアンケートを行う。  ③社会人としてのマナー教育に関するプログラムを行う。</p> <p>(2)①外部講師の活用、ワークシートの工夫により、総合学習の時間をより充実させる。  ②1・2年生を中心にインターンシップの積極的な参加を促す。  ③生徒の進路選択に向けて、3年間を見通したキャリアプログラムを実践する。</p> <p>(3)①進路希望別の説明会を計画的に実施する。  ②小論文（志望理由書・自己PR書）指導、面接指導を継続的に行う。</p>	<p>(1)①②③主体的に社会と関わる生きる力を育成できたか。</p> <p>(2)①生徒の進路意識が高まったか。  ②生徒が積極的にインターンシップに参加したか。  ③効果的なプログラムが実践できたか。</p> <p>(3)①説明会を計画的に実施できたか。  ②継続的に指導ができたか。</p>

<p>&lt;地域等連携&gt;</p> <p>(1)保護者や地域との交流を深める。</p> <p>(2)教育活動やその成果についての情報発信を行う。</p>	<p>(1)①地域や保護者と連携して学校行事や地域イベントを支えていく。 ②近隣の保育園と連携した授業や、本校行事への園児参加を行う。 ③保護者と学校が連携して、朝の挨拶運動を行う。 ④地域貢献の方法について研究を進める。 ⑤保護者を対象とした研修講座を実施する。 ⑥学校行事に積極的に参加してもらう。</p> <p>(2)①学校説明会などで、生徒が活躍している姿を伝える。 ②常に最新の情報が発信できるように、HPの更新を行う</p>	<p>(1)①②連携や交流を通して生徒の社会性は育ったか。 ③④貢献の内容について検討は進んだか。 ⑤効果的な研修講座が行えたか。 ⑥参加者は増えたか。</p> <p>(2)①生徒が活躍する場面を増やし、効果的なアピールができたか。 ②HPの迅速な更新ができたか。</p>
<p>&lt;学校運営・学校管理&gt;</p> <p>(1)職員の協力体制を作り、事故不祥事を防止する。</p> <p>(2)安全で、安心な学習環境を作る。</p> <p>(3)生徒の防災意識を高める。</p>	<p>(1)①平成27年度不祥事防止ゼロプログラムを策定し、職員一人ひとりが日常点検を行うことによって、事故不祥事に対する教職員の意識向上を目指す。</p> <p>(2)①防災マニュアルを見直すとともに、要点がわかるダイジェスト版を作成し周知する。 ②地域との連携を深め、非常時における本校の役割を明確にする。</p> <p>(3)①集団下校体制の整備を行う。 ②さまざまなケースを想定した、実践的な防災訓練や防災学習を行う。 ③災害図上訓練(DIG)研修を受け、リーダー養成の一助とする。</p>	<p>(1)①不祥事防止ゼロプログラムに沿って研修会及び事故防止会議を行い、教職員の意識が向上したか。</p> <p>(2)①マニュアルが周知できたか。 ②地域との連携が深められたか。</p> <p>(3)①集団下校体制の整備ができたか。 ②生徒の防災意識が高められたか。 ③災害図上訓練(DIG)を伝達研修できたか</p>
<p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など</p> <p>教育目標) 人格の完成をめざし、高い知性・健康な身体・豊かな情操の調和した人間を育成する。</p> <p>教育方針) 1. 明るく楽しい学校づくり 2. 勉学の習慣化を進める 3. 心身の健康を増進する 4. 豊かな情操を培う 5. 能力・適性の伸張を図る</p>		